

民間主導による淀川舟運の活用を促進

～淀川舟運活用ツアーの開催が決定！参加者を10月22日から募集～

- 京都府では、大阪・関西万博をきっかけに復活した淀川舟運の定期運航に向け、民間主導による自走化に向けた取組を推進しています。
- このたび、淀川舟運を活用した民間事業者によるツアーの開催が決定し、10月22日から参加者募集が開始となりますので、周知をお願いします。

本事業では、京都府がチャーターした船舶である「^{べんてんごう}辨天号」を活用し、公募により選定した民間事業者が、ツアーの造成・販売に取り組みます。

京都府においては、集客から販売、効果検証までを実施し、将来的な民間主体による持続的な運営（自走化）の実現を目指します。

1 ツアー概要

- (1) 名称 京街道クルーズ
- (2) 内容 淀川舟運と京街道が支えた旅や商いの歴史を、ガイド付きクルーズや伏見散策を通じて体感する。多言語対応やマップ配布により、沿川地域の歴史・文化・景観の魅力を発信する。
- (3) 販売事業者 オンライントラベル株式会社・株式会社阪急交通社
- (4) 実施日程 令和8年11月21日（土）、22日（日）、23日（月・祝）
- (5) 行程 背割堤船着場、久御山船着場及び伏見船着場を結ぶ舟運と、沿川の観光地を組み合わせたコース
※詳細については別添を参照
- (6) 募集人数 各便先着40名
- (7) 参加費 5,500円（税込み）～
- (8) 申込期間 令和8年10月22日（木）10時～各ツアー実施日の3日前まで

2 参加申込

以下の事業者のサイトから応募
 オンライントラベル株式会社（URL）<https://x.gd/iUzI4>
 株式会社 阪急交通社（URL）<https://x.gd/21Z7Z>



オンライントラベル株式会社

3 ツアー主催者

株式会社阪急交通社、オンライントラベル株式会社



株式会社 阪急交通社

4 実証事業実施者

川の京都推進協議会（京都府商工労働観光部観光室）

（参考：辨天号とは）

乗客定員60名の江戸時代の「淀川三十石船」をイメージした船舶

【本報道発表に関するお問合せ】

商工労働観光部 室長 西田 TEL 075-414-4835
 観光室 課長補佐兼係長 高田 TEL 075-414-4877



各種コースについて

①背割堤から伏見へ向かうコース

背割堤集合→乗船
背割堤 → 久御山へ移動。船内ガイドが三川合流域、京街道と水運、旅人の暮らしを解説。
久御山で巨椋池と沿川の暮らしを短く紹介。休憩
久御山 → 伏見へ移動。 港町伏見、酒づくり、三栖閘門の歴史を紹介。
伏見船着場下船→各自移動で伏見散策→長建寺周辺・酒蔵の町並み・寺田屋周辺等各自散策

②伏見から背割堤へ向かうコース

伏見船着場集合→乗船
伏見 → 久御山。ガイド解説と伏見と舟運の関係を紹介。
久御山で巨椋池の変遷を短く紹介。
久御山 → 背割堤へ移動。三川合流域の景観を解説。
背割堤下船→さくらであい館へ各自移動。
さくらであい館展望を各自で見学

③さくらであい館展望見学から伏見へ

集合前に各自さくらであい館の展望塔から三川合流域を眺める。
背割堤周辺の景観観察後に背割堤集合にて乗船
背割堤 → 久御山へ移動。船内ガイドが三川合流域と京街道・水運の歴史を紹介。
久御山で巨椋池と沿川の暮らしを短く紹介。
久御山 → 伏見へ移動。伏見港、三栖閘門、酒づくりの歴史を紹介。
伏見船着場下船→各自移動で伏見散策へ。